

S.A・ネット大阪ニュース 第9号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://sanetosaka.web.infoseek.co.jp>
〒560-0083 豊中市新千里西町2丁目1-1-1408 TEL・FAX 06-6836-5568

◆ ◆ 平成23年度「大阪府高齢者大学校」受講生募集のご案内 ◆ ◆

平成23年度「NPO法人大阪府高齢者大学校」の募集が、平成22年11月より開始されました。新年度は本年度に比べて、教科が23科目⇒36科目、授業日数30日⇒38日と強化されました。教室も本年度は、piaNPOと大阪府社会福祉会館に分散していましたが、新年度は「大阪市教育会館(中央区法円坂)」で全講座が開校されます。(ガーデニング科の教室は、住之江公園です)



会員の皆様から友人・お知り合いの方々に「口コミ」による募集案内を是非ともお願い申し上げます。尚、過去に高大・老大・高齢者アクティブシニア講座・SA養成講座を修了された方も再受講が可能ですので、応募のご検討を是非お願いいたします。

[平成23年度大阪府高齢者大学校募集概要] (詳細：募集要項を参照ください)

◆ 講座目的

この講座は、元気なシニアが今後の長い人生をより楽しくより豊かに過ごすための学習と実践の力ををつけるために開講します。そして修了後は、在学中に培ったスキルを仲間とともに地域で同窓会を基盤に活動します。

◆ 期間・内容(開講予定講座は、裏面をご覧ください)

平成23年4月～平成24年3月の1年間です。(夏期及び年末年始は休講)・専攻科目と共通講義があります。専攻科目は、選択制で、午前は選択した科目を、午後は共通講義として「おおさか学」(大阪の自然、風土から歴史、文化、経済など)、「市民活動基礎講義」を受講し、クラスミーティングを全員で行います。

◆ 開講場所：大阪市教育会館(アネックス 法円坂)

〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 TEL:06-6360-4400 Fax:06-6360-4500

◆ 受講料(年額)

本 科 ゼミナール科	<ul style="list-style-type: none"> ・50,000円(受講料47,000円+NPO大阪府高齢者大学校年会費3,000円) ただし、教材費や校外学習・実習・自主活動等に要する費用などは別途負担 *「音楽を楽しむ科」は、ピアノ伴奏費用、楽器使用料が別途必要です *「ITパソコン科①・②」は、パソコンリース代15,000円/年が必要です
実践研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・47,000円 + 同窓会費 ただし、教材費や校外学習・実習・自主活動等に要する費用などは別途負担 *「音楽鑑賞を深める科」は、ピアノ伴奏費用、楽器使用料が別途必要です *「ITパソコン研究科」は、パソコンリース代15,000円/年が必要です *「美術研究科」は、特別教室を使用するため、1万円が別途必要です。

◆ 受講申込

- 第一次募集申込締切日 平成23年1月15日(土) 定員超過時は、抽選1月17日(月)
 - 第二次募集申込締切日 平成23年2月15日(火) 定員超過時は、抽選2月17日(木)
- 尚、2月20日時点で、定員に満たない場合は、当該専攻科目を中止する場合があります。

◆平成23年度大阪府高齢者大学校 本科「開講講座」

No.	科目名	定員	No.	科目名	定員
1	SA 地域コミュニティー科	50名	14	音楽を楽しむ科	50名
2	SA 伝承玩具・レクリエーション科	50名	15	笑いの創造科	40名
3	★朗々福祉を楽しむ科	40名	16	朗読を楽しむ科	40名
4	現代社会を考える科	50名	17	古典文学を楽しむ科	50名
5	歴史学古代科	50名	18	基礎英会話科	40名
6	歴史学中世科①	50名	19	★中国語・文化交流科	40名
7	歴史学中世科②	50名	20	IT・パソコン科①	30名
8	★歴史学近世近代科①	50名	21	★IT・パソコン科②	30名
9	★歴史学近世近代科②	50名	22	アウトドア科	40名
10	考古学・遺跡探訪科	50名	23	★自然文化を楽しむ科	50名
11	大阪の史跡探訪科	60名	24	ガーデニング科	50名
12	美術創造科	50名	25	★運動・スポーツ・健康科	50名
13	★美の世界と芸術散歩科	50名		計	1,160

26	ゼミナール科	30名	*ゼミナール科は、高大・老大・高齢者アクティブシニア講座 SA 養成講座、シニア自然大学の修了生対象の講座です。		
----	--------	-----	--	--	--

★印：新設科目（計8科目） * SA：シルバーアドバイザーの略称

◆平成23年度大阪府高齢者大学校 実践研究部「開講講座」

No.	科目名	定員	No.	科目名	定員
1	考古学研究科	40名	6	★音楽鑑賞を深める科	40名
2	中級英会話科	40名	7	★総合芸能研究科	40名
3	美術研究科	40名	8	★古典を深く味わう科	40名
4	IT・パソコン研究科	30名	9	★SA子ども教室研究科	30名
5	★アウトドア研究科	40名	10	★史跡ガイド研究会	30名
				計	370名

★印：新設科目（計6科目）

* 実践研究部の受講資格は、高大・老大・高齢者アクティブシニア講座・SA 養成講座の修了者で同窓会会員の方、及びシニア自然大学校を修了の方が受講できます。

◆ ◆大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業部◆ ◆

報告者 石井 定雄

大阪府立介護情報・研修センターで介護福祉用具説明員委託業務を引き受けまして、5年を経過しました。大阪府は、一昨年策定した「財政再建プログラム案」の後続計画にあたる「大阪府財政構造改革プラン」が公表されまして、大阪府立介護情報・研修センター所長より、大阪府財政構造改革プランで、当介護情報・研修センターの存続について説明がありました。大阪府では、自律的な財政構造改革は平成20年からスタートをしております、当介護情報・研修センターは、大阪府地域福祉推進財団が指定管理者として受託業務をしていました。



平成21年3月31日で、大阪府地域福祉推進財団が指定管理者として受託業務を解除されました。それまでは、当介護情報・研修センターで従事します職員は二十数名おられました。平成21年4月1日からは、大阪府福祉部が直轄で管理することになり従事されず職員は、激減7名になりました。当介護情報・研修センターの財政改革をするには、大阪府は職員の削減を検討されました。その後 大阪府総務部行政改革課は府庁ホスピタリティ向上調査を実施されまして、当介護情報・研修センターの職員および福祉用具説明員の執務状況観察調査を民間調査機関に調査を依頼されました。民間調査員の視点から見た、職員および福祉用具説明員の執務・サービス観察調査が行われました。調査結果について大阪府総務部行政改革課から調査報告資料が届きました。調査報告書では、福祉用具説明員の接遇マナーは、笑顔での挨拶があり、いつでも迎え入れる準備ができていた事が感じとれた。また他の来訪者と職員が接遇中であつたが、福祉用具説明員は、「こんにちは、少しお待ちください」との笑顔の挨拶があり、来訪者への十分な気配りが感じとれた。福祉用具説明員は名札を掛け文字も他の施設より大きく、高齢者の方々への配慮を感じ取れた。民間調査員は3名で各々の調査日時は異なりました。いわゆるミステリーショッパー手法（覆面調査）でした 調査員報告内容では、福祉用具説明員は来訪者への接遇態度、言葉使いは好評でした。福祉用具説明員世話人（石井）は全員に大阪府総務部行政改革課の府庁ホスピタリティ向上調査結果の資料を福祉用具説明員に配布し説明をしました。

平成22年4月から、当介護情報・研修センターの職員は、七名から五名に削減されました。大阪府では、平成22年8月5日『大阪府財政構造改革プラン《素案》』が公表されまして福祉用具説明員には、当介護情報・研修センターの自律的な運営管理について今後の存続について意見を求められました。意見応募期間 8月5日～9月3日迄 福祉用具説明員の皆さんは、大阪府立介護情報・研修センターの存続には関心も高く、大阪府財政構造改革プラン《素案》に意見を応募されました。先日大阪府は財政構造改革プラン《素案》でのパブリックコメント意見等集計表が公表されました。大阪府は、当介護情報・研修センターの今後のあり方については、検討委員会が設置しまして、大阪府としては、引き続き実施すべき事業の効果的・効率的な実施手法等を検討しますと回答がありました。

福祉用具説明員には、大阪府よりの「大阪府立介護情報・研修センターの存続について」の上記の回答を説明しました。

◆ ◆ おもしろ算数教室事業部 ◆ ◆

報告者 二葉 登代子

[算数で、遊んで、楽しもう]

「算数マジックの謎解きは楽しいよ。

パズルが解けたときの快感を味わってみよう」

1. 子どもには、考える力が養われるよ!
2. 高齢者には、脳のアンチエイジングが図れるよ!



[活動状況]

1. 出前教室等

① 高齢者対象

- ・ 柏原市の「物忘れ予防サロン」毎月1回
- ・ 八尾市 「アクティブシニア出前講座」として
- ・ 柏原市立 老人福祉センターにて
- ・ 枚方市 の地域包括支援センター「なぎさ」にて

② おもしろ算数教室の紹介と体験

- ・ ファインエイジの会にて
- ・ 高齢者大学にて (2回)

2. パズル体験

- ・ ぷらら天満にて (2回)
- ・ 四天王寺古本市にて (2回)
- ・ アクティブシニアフェアにて

3. 講座

- ① サポーター養成講座を実施
- ② おもしろ算数教室 中級を実施

★ 前回 第7号のパズルの解

①

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 1 & 9 \\ \hline \times & 3 \\ \hline \hline 5 & 7 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 1 & 3 \\ \hline \times & 4 \\ \hline \hline 5 & 2 \\ \hline \end{array}$$

★ 今回の問題 (方陣)

①縦と横に、1, 2, 3, 4の数字を1個ずつ入れてね

②縦と横と

 に、1, 2, 3, 4

の数字を

1個ずつ入れてね

①

②

		4	
			1
3		2	
	2		

1			
		4	
		2	
	3		



(物忘れ予防サロンにて マジック実演)

◆ ◆ 伝承おもちゃづくり事業部 ◆ ◆



報告者 三田 進一

平成22年度上半期実績報告(22年4月～22年9月)〈活動明細〉 (単位:人)

開催月日	イベント名	会場	SA参加人数	来場者数
4月11日(日)	アミューユ(寝屋川寿町) 「花見でゴミ拾い」 おもちゃ&バルーン	万博記念公園	5	約40
4月17日(土) ～18日(日)	ぷらら天満創業5周年記念祭 おもちゃづくり&バルーン	ぷらら天満	延 15	約90
5月1日(土) ～2日(日)	「四天王寺春の大古本市」 おもちゃづくり&バルーン	四天王寺	延 23	約180
5月5日(祝)	野田新橋筋商店街「子どもまつり」おもちゃづくり	新橋筋商店街	8	127
8月7日(土)	野田新橋筋商店街「100 縁笑 店街まつり」おもちゃづくり	新橋筋商店街	10	約70
8月28日(土)	東大阪市岩田西部子ども会 おもちゃづくり「夏休み工作 教室」	岩田西部自治会館	8	38
9月12日(日)	(社)宥恵会「ゆうけい祭り」 バルーン&おもちゃ	宥恵会ホール	4	約300
合計	7回 延9日		延73	延約845

1、大阪府福祉基金： 助成金 300,000円 決定、交付

2、上半期実績：7件、延 9日の出前講座を実施。うち3件は初めての訪問。

「四天王寺春の大古本市」



野田新橋筋商店街「子どもまつり」



◆ ◆ 国際交流事業部 ◆ ◆



報告者 出口 恭一

平成18年9月にNPO法人SAネット大阪が設立され、平成19年4月に現国際交流事業部がNPOの一事業部としてスタートしました。平成17年11月に現国際交流事業部の母体である国際交流フォーラム実行委員会をSA養成講座のOB諸氏と現役のメンバーで創設し、その後、国際交流委員会を設立後、現在に至っています。

設立以後、国際交流事業部の運営委員会をSA養成講座の国際交流専攻コースの修了者の中からNPO SAネットの正会員である各期メンバーの2名以上で構成し、現在に至っていますが、毎年、8月を除く毎月、国際交流事業部の企画・運営を相談すべく運営委員会を開催しておりますが、出席者は年々、減少し、顔ぶれが固定化して来ております。恐らくこの現象は、国際交流事業部そのものに魅力が無くなってきているのが原因ではないかと心配しております。それに高齢者大学校の創設メンバーになった事から運営委員会の議案も高齢者大学校の募集や高齢者大学校が主催、または協賛されるイベントの紹介等が多くなり、益々、国際交流事業部の存在感が薄まって来ているのではないかとの意見が運営委員会でも発言されて来ており、国際交流事業部の原点、活動主旨に没頭する熱意が薄らいで来ているといった症状の所産ではないかと危惧しております。

国際交流事業部を創設した当初の活動主旨からなんら変わった主旨で行動、実践して来た訳ではなく、第一回のネパール国幼稚園副園長の講演に始まり、第2回は米国人のラフカディオハーンの研究家の講演、第3回からは、大阪日本語教育センターの留学生による各国の習慣や常識を披露願って、参加者との交流の場を設け、本当に我が国の人々が存じなかった種々の国々の諸習慣等を知る事の意義を感じて第4回以降も続けてきております。

また、USJのパーフォーマーと大阪市港区の小学校生徒との「英語で遊ぼう」も結構、有意義な事業として継続して参りました。しかし、残念ながら、このイベントはUSJ側の事情から第15回を最後に一旦休止となりました。

国際交流事業部が抱えている一番大きな問題は、如何に多く集客出来るかに掛かっています。事業部の主旨を拡げるには、種々のイベントの開催が必須ですし、それには、会場費用や講師費用や交通費をなんとか捻出しなければならず、参加者が多くないと継続して実施・開催が出来ません。それには、正会員・賛助会員各位の御協力を仰がざるを得ない訳です。今後も引き続き智恵を絞って魅力のあるイベントを検討、実施して行きたいと考えておりますので、何卒、宜しく御支援賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年度イベントとして、「英語落語」、「東南アジア領事の講演」、それに日本国に入国する際に通過する「入国審査」に関する講演などを企画しております。

◆ ◆ 2010 年 中国文化・語学交流レポート ◆ ◆



国際交流事業部 大川 正彦

今年で 5 回目になる中国の大学生との文化語学交流、講演会の他に、更に学生と大学からの要請で日本語の授業をする事となり、大学の正式授業時間に日本語授業をやるという事でリーダーの島貫さん（国際交流 18 期）は事前準備に充分時間をかけた企画となった。

①中国の変化

中国経済成長は日本の復興時期に比べても 4 倍のスピードとも言われている。変化は目に見えるランドマーク的な物だけでなく目に見えないシステム、文化にも変化が見える。

交流に向かう中国航路の中、中国の若者集団と交流、以前に日本に研修に行くと云う言葉を聞いたことが有るが日本企業に内定的研修に行くと思っていた。日本でも見られた集団就職団体を思い出したが、良く聞くと研修と云う名の人材派遣。日本の派遣会社と中国の民間派遣会社が期間限定の派遣業務をやっている様、共産党傘下市場でのシステム出稼ぎでこれは想像外だった。

でも若者たちは 3 年間の研修出稼ぎで日本語と日本文化？と、いくばくかのお金を貯めて心豊かに 3 年ぶり故郷に帰省、どの若者にも笑顔と将来を信じているまなざしが。

②交流変化

今回の交流は 1 校に絞り全員が個人パフォーマンスを發揮、研修、講演のレベルは数段上がってきた。日本文化の紹介も 3 コマ増え大学側の期待に応えたか・・・

交流会には昨今卒業生も参加また、就職先での交流と密度も増してきた。変化とすれば学生たちの歓迎、勉強熱心は変わらないが一部の学生の中に一人子政策の影響が垣間見られる場面があったが、大半の学生は純粋で素朴で勉強熱心は変わらない。日本の学生の様になってほしくない。

今回初めてのサプライ紹介、腹話術・特にビンゴゲームは予想外大好評（気持ちだけの景品に歓声、学生達には素晴らしい、珍しい made in Japan）に見えるのだろう。

made in Japan はまだまだ強い！

[講演テーマ]

[交流日程] (4 月 16 日～4 月 28 日)

	テーマ	講演者	時間
1	企業人の心構えとビジネスマナー	大川 正彦	140 分
2	日本の祭りの紹介	藤岡 弘斉	50 分
3	日本の文化（ほんの一部）紹介	島貫 清司	50 分

[日本語授業テーマ]

	テーマ	講師	時間
1	日本語の朗読（1）にんじん・ごぼう・だいこん	黒川 怜子	50 分
2	日本語の朗読（2） 蜘蛛の糸	郷丸 絹恵	50 分
3	やさしい日本語の問題	藤岡 弘斉	50 分
4	クロスワードパズル	郷丸 絹恵	50 分
5	日本の慣用句	島貫 清司	50 分
6	日本の俳句	松島嘉津子	50 分

*詳細は、S A・ネット大阪ホームページ参照（写真入り）

◆ ◆ イベント情報のご案内 ◆ ◆



イベント名	開催日時	場 所	参加費	主 催
団塊世代の地域 デビュープロジェクト 「映画と講演の集い」	11月12日(金) 13:00~16:30	大阪市教育会館	入場無料	NPO 市民福祉 団体全国協議会
英語落語会 「第17回おふく寄席」	11月13日(土) 19:00~	大阪市 中央公会堂	入場無料	おふく寄席
大阪城ウォーク	11月19日(金) 9:40~	大阪歴史博物館 集合	200円	NPO 大阪府 高齢者大学校
大阪ほんもの講座 「邪馬台国と難波宮」	12月10日(金) 13:00~16:15	大阪市立阿倍野 区民センター	800円	NPO 大阪府 高齢者大学校
大阪府高齢者大学校 「第2回文化祭」	12月17日(金) 10:00~16:00	ビッグ・アイ	入場無料	NPO 大阪府 高齢者大学校
乙女文楽 「乙女文楽と落語の 出会い・ときめき」	平成23年 1月6日(木) 1部開演 11:00 2部開演 13:30	吹田メイシアター	2,000円	NPO 大阪府 高齢者大学校 乙女文楽華の会
第3回「音楽会」 ・パイプオルガンの響き ・大阪音大クラシックの しらべ	平成23年 2月4日(金) 13:30~15:30	いずみホール	<前売り> 2,000円 <当日> 2,500円	NPO 大阪府 高齢者大学校

◆ ◆ ホームページ「URL」変更のご案内 ◆ ◆



ホームページの従来URL [<http://sanetosaka.hp.infoseek.co.jp>] が、10月5日付けで新URL [<http://sanetosaka.web.infoseek.co.jp>] に変更いたしました。尚、2011年10月までは、従来URLへのアクセスは新URLに自動転送されますが、お早い目に「お気に入り」の変更登録をお願いいたします。

【 編集後記 】

SA・ネット大阪ニュース」第9号は、「前期事業」の中間報告内容でお届けいたしました。中国との国際交流として、SA18期生の大川正彦様からレポートをいただきました。会員の皆様より、本紙への積極的な「投稿」を心からお待ち申し上げております。次号は後期事業報告の内容で、2月下旬に発行の予定です。(広報部:T.N)